

## 専大校友を訪ねて

「日経CNBCエクスプレス」総合キャスター

江連 裕子さん(平15院経済修)



10月からリニューアルしたニュース番組「日経CNBCエクスプレス」(月～金曜日21時30分～23時)の総合キャスターを務める。「経済はまさに生き物。生きた情報を伝えることでビジネスマンだけでなく、若い方々にも経済をより身近に感じていただきたい」。短大、大学、大学院を通じて学んだ知識を生かし、経済の鼓動を生活者の視点で伝える。

栃木県出身。税理士を志し、北海道短期大学経済科から本学経済学部編入。在学中、女子アナウンサーの登竜門といわれた週刊文春「篠山紀信女子大生写真館」のグラビアに登場する機会を得て卒業後、フリーアナウンサーとしてスタートを切ることになった。4年次に大学院授業履修制度で学び、経済学研究科修士課程に進学。財政学を専攻し、修士論文は「二次元的所得税の研究—北欧諸国の租税政策について」をまとめた。「指導の原田博夫教授はじめ鶴田俊正教授(現名誉教授)、吉家清次教授といった先生方に恵まれました」。TBS/JNNニュースバードのキャスター、フジテレビ経済部専属リポーター、テレビ東京モーニングサテライトの天気キャスターを務め、「研究との両立は大変でしたが、社会人学生だったからこそ、相乗効果が生まれました」。修士課程修了後も旺盛な向学心はとどまらず、博士後期課程の聴講生、大手監査法人「KPMG税理士法人」勤務も経験した。

放映時間以外は収録や準備に追われる多忙な毎日。時折思い出すが、短大時代を過ごした美唄のどこまでも大らかな自然と温かいキャンパスだ。「今でも交流がある友人がたくさん出来ました。マクロ経済の面白さを教えていただいた高橋義博先生、ゼミ指導の山田正範先生、山本補将先生をはじめ忘れられない先生方も……。大自然とあの時交流のあった皆さんと過ごした時間は、この先経験することのない貴重な思い出です」。

---

## 4氏が研究発表

緑鳳学会第13回大会



▲研究発表する伊吹浩一氏

平成16年度専修大学緑鳳学会(矢邊學會長＝国士館大学名誉教授)第13回大会が11月6日に神田キャンパスで開かれた。

研究発表は、李東勲氏(大学院経営学研究科博士後期課程)が「今日における中小小売業問題に関する研究」をテーマに、どのような自助努力をなすべきかを問題提起した。続いて横澤清子氏(平16大学院文学研究科博士後期課程単位取得)が「碑文から読む”近代”—中島信行の三撰文—」と題して、土佐出身の民権運動家・中島信行の足跡をたどった。

次に伊吹浩一氏(法学部非常勤講師＝哲学・倫理学)が「精神分析とフランス現代思想」と題して哲学の流れを解説。最後に森田悦史氏(国士館大学法学部助教授)が「フランスにおけるフィナンサーズについて—生成過程を中心に—」と題し、取引における法的構造論などを展開した。

---

## 校友会支部だより

### 岩手県支部連合会総会

9月4、5日、胆沢町の「ひめかゆ温泉」で。本部2人、大学3人、会員27人が出席。千葉久貴胆江支部長(昭60北短土木)が司会。相澤敬治連合会長(昭28商経)、甘竹秀雄校友会副会長のあいさつに続き、石巻専大の相馬弘年教授が「大学の近況と少子化時代の大学のあり方」をテーマに講演。役員改選が行われ、現役員が再任された。

### 岐阜県支部連合会総会

9月26日、多治見市の「川地家」で。本部2人、来賓1人、会員14人が出席。箕浦郁朗氏(昭52経営)が司会。住正文岐阜支部長(昭35商経)が開会の辞を述べ、福田俊雄会長(昭18専経)、来賓の中村幸昭三重支部長(昭26経学)があいさつ。議事に移り、会務を承認した。

### 伊予おおとり会総会

6月12日、松山市の「ホテル東急イン松山」で。本部1人、会員16人が出席。浜田修氏(昭44法)が司会。平山義昭会長(昭39経済)のあいさつの後、議事に移り、会務を承認した。

### 熊本支部総会

7月3日、熊本市の「鶴屋百貨店宴会場」で。会員ら84人が出席。淵上宣生支部長(昭36商経)があいさつ。吉江正春校友会副会長(九州連合会長)、佐藤清生専大玉名高理事長が祝辞を述べた。引き続き議事に移り、会務を承認。育友会熊本支部の牛島洋治支部長も出席し、校友・育友の交流も深めた。

### 36会総会＝昭和40年卒業同期会

7月8日、千代田区の「九段会館」で。本部1人、会員16人が出席。櫻井勇氏(法)が司会。佐藤明代表幹事(商経)のあいさつに続き議事が行われ、会務を承認した。

### 福島県いわき支部

今年度から「浜通り支部」を「いわき支部」に名称を変更。7月16日、いわき市の「内郷館」で。会員ら約25人が出席。吉村昭一郎氏(昭54商)が司会。岡部義邦支部長(昭34法)があいさつ。役員改選を行い、新支部長に国分賢一氏(昭45経営)が選任された。引き続き、新関光一本学体育事務部長が「体育会活動の現況について」と題した講演を行った。

### 阿賀北黒門会総会

7月17日、新潟県紫雲寺町の「紫雲の郷 チューリップハウス」で。本部1人、来賓1人、会員17人が出席。佐久間洋二氏(昭48経営)が司会。鬼嶋正之会長(昭45文)、来賓の山本悌二郎氏(昭29法)

があいさつ。議事に移り、会務を承認。役員改選では、現役員が留任した。

#### 日光今市支部総会

8月1日、栃木県の「鬼怒川ホテルニュー岡部」で。本部3人、来賓1人、会員16人が出席。小林幸雄氏(昭53商)が司会。坂本伴治校友会副会長があいさつ。議事に移り会務を承認。役員改選が行われ、新支部長に沼尾志朗氏(昭49経済)が選任された。

---

## 校友会グリーンカップゴルフ大会

校友会恒例のグリーンカップゴルフ大会は10月29日、千葉県鷹之台カンツリー倶楽部で94人の参加を得て行われた。20回目という節目の大会とあって、北海道、岩手、広島など関東圏以外の参加者やご夫妻が2組、70歳以上が12人参加するなどバラエティーに富んだ大会となった。開会式は伊藤良雄大会実行委員長(校友会副会長)のあいさつ、伊藤隆文競技委員長(同体育振興部長)の競技説明の後、熱戦がスタートした。

三島英雄専修大学専務理事の乾杯の音頭で始まった懇親会では、あいさつに立った甘竹秀雄校友会副会長が「チャリティーホールの協賛金7万5000円を新潟県中越地震の被災地区への義援金に」と提案すると、大きな賛同の拍手がわきおこった。

表彰式では20回連続参加の今福義幸氏(昭33商経・専修大学附属高校理事長)に皆勤賞が贈られたほか、個人優勝は山田徇孝氏(昭30商経)、シニアの部は森英樹氏(昭37商経)、ベストグロス賞は80で回った佐久間雄一郎氏(昭46経営)が手にした。団体戦は接戦のすえ37会Aチームが制した。

大会記録の詳細・景品等の提供者につきましてはホームページ及び校友会誌「Adonis33号」に掲載いたします。

【ニュース専修2004年11月号11面】